

形と機能 — PC卵形消化槽 —

企画：大成建設株式会社
製作：（株）桜映画社

<16ミリ・カラー・20分>

〔製作意図〕

下水を浄化すると、汚泥と呼ばれる、大量の汚濁物質が分離される。この処分が、大きな社会問題になってきている。

汚泥は、嫌気性細菌（メタン菌）の力を利用して、分解、処理する。これを、消化という。この消化によって、汚泥の総量は 1/2 に減らすことができる。最近、より効率よく汚泥を消化できる施設として、PC卵形消化槽がクローズ・アップされている。

この映画では、汚泥処理についてわかりやすく解説し、機能を求めた結果、卵の形が最も合理的な消化槽を紹介する。

〔シノプシス〕

汚泥を処理する施設として、日本では以前から円筒形の消化槽が使われている。

しかし、この消化槽には、上部にスカム（固形物や処理しきれない有機物）が発生したり、下部に砂が堆積したりすることによって、消化槽としての機能が低下するという問題点が残されていた。

そこで、この問題点を解決し、より機能的な、卵形の消化槽—PC卵形消化槽の導入が始められている。

PC卵形消化槽は、PC鋼材を配置してコンクリートの壁を締めつけることによって、強度を持たせ、地震にも対応できるように設計されている。

さらに、実際に卵形消化槽の建設が進められている現場での工程を追いながら、処理された汚泥の再利用なども含めて、新しい消化槽の利点を解説していく。

〔スタッフ〕

製作 村山 英世
脚本 原村 政樹
演出 原村 政樹

撮影 山屋 恵司
照明 本橋 俊男
編集 沼崎 梅子

選曲 山崎 宏
解説 幸田 弘子
録音 福島音響